

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	漁業後継者育成事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	新しい芽 リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'02	2 新しい価値観や豊富な行動力をもった担い手が、継続的に育成されるしくみをつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	漁業者・市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
将来の漁業を担う後継者が育成されています。		将来の漁業を担う後継者を育成するため、研修や体験漁業及び市場見学等の活動を支援します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名	体験漁業・市場見学会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	45	45	45	45	
	実績	43	47	45		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	体験漁業・市場見学会参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	2700	2700	2700	2700	
	実績	2700	2800	2700		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
小・中学生の市場見学会や体験漁業等を通じて、海や漁業への関心を高めることにより、次代の漁業の担い手育成に結びついています。また、県漁連等による研修への積極的な参加など、若手漁業者の育成に結びついています。						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	より多くの小・中学生が体験漁業に参加できる機会や若手漁業者への積極的な研修参加を促すため、市の関与が必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	体験乗船や研修会等を継続的に行うことは、後継者の育成にとって効果的と考えられます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	将来の担い手を確保する手段として、次代を担う小・中学生を対象に各種事業を展開していきます。また、若手漁業者の育成事業も促進します。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	市と漁協が役割分担をし、連携を図りながら実施していきます。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> より多くの参加者に海や漁業について興味や関心を持ってもらうために、各事業における内容の拡充が課題です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		小学生の体験乗船、市場見学及び漁業者研修会等の開催支援	小学生の体験乗船、市場見学及び漁業者研修会等の開催支援	小学生の体験乗船、市場見学及び漁業者研修会等の開催支援	小学生の体験乗船、市場見学及び漁業者研修会等の開催支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b> こどもたちを対象とした体験漁業について、稚魚の放流方法や体験乗船など、短い時間でより効果的に伝わるよう事業内容をブラッシュアップします。また、若手漁業者への研修機会の拡大等を進めるとともに、関係機関に働きかけます。
<b>課長コメント</b> 本事業は、長期的な視点から、継続して実施することにより将来の成果が得られるものであることから、引き続き必要な支援を行います。